

水の大切さを子どもたちにも伝えていきたい

(ダルビッシュ有)

ダルビッシュ 有 水基金

第16号プロジェクト開始

ジミレトク村の水と衛生プロジェクト(ネパール)



特定非営利活動法人日本水フォーラム（認定 NPO 法人、東京都中央区、代表理事：竹村公太郎）は、2023年5月より、「ダルビッシュ 有 水基金」第16号プロジェクトとして、ジミレトク村の水と衛生プロジェクト(ネパール)を支援します。

プロジェクト実施概要

○プロジェクト実施地：ネパール ガンダキ州 ジミレトク村

○期間：2023年5月～12月（予定）

○受益者数：22世帯（男性47名、女性51名、子ども36名、計134名）

○背景：2020年に地元自治体が給水設備を整備したが、給電できない地域にポンプを設置してしまい利用できず、設備を取り壊した。住民は古い共同水栓に頼っているが、水質は悪く乾季（3-6月）にはこの水栓さえ使用できないので、最寄りの小川に3時間以上かけて水汲みに行く。水が手に入りにくいので衛生状態が悪い。



Created with mapchart.net
プロジェクト地



古い共同水栓で洗濯する女性たち

○プロジェクト実施事項：

既設集水槽、貯水槽及び各戸配水管の修繕と、新たな次の施設建設や活動を行う。

- ・ファサルデイ湧水の取水設備建設
- ・約250メートルの送水管
- ・集水槽から貯水槽へ揚水するためのソーラーポンプ
- ・利用者衛生委員会と設備管理者へのトレーニング
- ・水質試験

○期待される成果及びSDGsへの貢献：

- ・22世帯が玄関先で安全な飲料水を手に入れることができる。
- ・安全な飲料水により住民の水由来の疾病が減り、健康状態が改善される。
- ・日々の水汲みの必要がなくなり！日当たり最大3.5時間を節約することが可能になり、家事・経済活動・勉強ができる。
- ・特に関連するSDGs

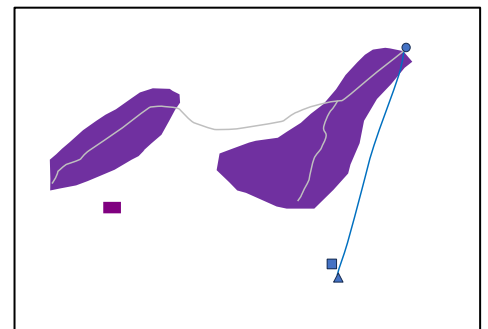
SDG 3:すべての人に健康と福祉を



SDG 4:質の高い教育をみんなに



SDG 6:安全な水とトイレを世界中に



【ダルビッシュ 有 水基金】とは

2007（平成19）年3月、ダルビッシュ有投手（現MLBサンディエゴ・パドレス所属）は、日本水フォーラムと協力して、水不足や水の汚染等に苦しむ発展途上国の人々に安全な水を提供することを目的に、「ダルビッシュ 有 水基金」を設立しました。

詳しくは日本水フォーラムウェブサイト*をご覧ください。

*ダルビッシュ 有 水基金 <https://www.waterforum.jp/what-we-do/darvish/>



Created with mapchart.net

2022年までに

11か国15件のプロジェクトを実施

■この資料に関するお問い合わせ先：日本水フォーラム 鈴木（武）、福田（03-5645-8040

E-mail: darvish-waterfund[*]waterforum.jp ※[*]を@にご変更のうえ送信ください

■ダルビッシュ有に関するお問い合わせ先：Fedal Management 株式会社（078-291-4511）